

国際協力フォーラム開催

活動地域 日本全域

プラットフォーム助成
3年目
国際会議

| | |
|-----------|-------------|
| 参加者数 | 589人 |
| アンケート満足度 | 75% |
| 今年度計画の達成度 | 70% |
| 目標達成度 | 70% |



国際協力フォーラム「HAPIC」の様子

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での開催が困難になった。オンラインでの開催は2020年度が初めての経験であり、通信環境の事前確認などの作業に追われた。

■工夫した点

多様なテーマを扱い、かつ、参加型の運営を心掛けたため、セッションを主催団体だけで準備するのではなく、一般公募を行った。その結果、13件のセッションを採択した。

課題

SDGs達成に向けた課題や国際環境協力を取り巻く国内外の状況とその変化への対応について、多様な関係者が一堂に会して議論・学習・連携する定期的な機会が存在しない。

目標

環境保全を含む国際協力に関わる多様な関係者が一堂に会し、重要・最新テーマについての議論と学習、連携を通して、SDGs達成に向けた活動が創出・展開されていること。

活動内容と成果

- 国際協力や社会課題解決に関するイベントに参加し、運営手法を調査した
- 2021年2月14-16日の3日間、オンラインで「HAPIC2021」を開催し、登壇者53人、参加者589人を得ることができた。気候変動、防災・減災、ジェンダー平等、新型コロナウイルス感染症と国際協力、若者の政治参加、コレクティブインパクトなど、現在の社会が直面する課題や解決手法などに関する29のセッションを開催した



若手プロジェクトリーダー研修に関する発表



ブレイクアウトセッションの様子

全助成期間の活動を振り返って

年度を経るごとにセッション数が増え、それに伴い取り扱うテーマが増えたことで、議論と学習の機会を参加者に提供することができた。また、ネットワーキング・レセプションやダイレクトメッセージ機能、ブース出展などを通じて参加者間や登壇者・参加者間での出会いの場を創出することで、潜在的な連携相手を探す機会を提供することができた。

〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18アバコビル5F
電話：03-5292-2911
E-mail: global-citizen@janic.org
HP: <https://www.janic.org/>



今後の展望

海外ではオンラインイベントが多数開催されているため、引き続き参加し、最適な形での開催を検討する一方で、2021年度以降はオンラインと対面のハイブリッド開催を模索する。環境NGO/NPOの動向にも注視し、企画段階から多くの団体に声を掛けるとともに、広報協力も依頼する。参加人数と組織数、協力団体(協賛・出展・後援)は目標を超えたため、引き続き数を伸ばせるように取り組んでいく。